

集計・算出方法

○ 集計項目について

報告者から回答された調査票は民間事業者がとりまとめます。民間事業者は回答された調査票内容の検査を行ったのち、平日1日及び休日1日の調査結果を拡大処理し、以下の集計項目ごとに当日拡大値や平休年拡大値を算出します。

1 流動に関する集計

1-1 片道・往復別都道府県間相互発着表

1-1-1 当日拡大値・平日

1-1-2 当日拡大値・休日

1-1-3 平休年拡大値

1-2 片道・往復別都道府県・3大都市圏間相互発着表

1-2-1 当日拡大値・平日

1-2-2 当日拡大値・休日

1-2-3 平休年拡大値

1-3 片道・往復別都道府県間相互発着比較表

1-3-1 当日拡大値・休日／平日

1-3-2 平日拡大値・今回結果／前回結果

1-3-3 休日拡大値・今回結果／前回結果

1-4 片道・往復別都道府県・3大都市圏間相互発着比較表

1-4-1 当日拡大値・休日／平日

1-4-2 平日拡大値・今回結果／前回結果

1-4-3 休日拡大値・今回結果／前回結果

1-5 都道府県間発着人員密度分布図

1-5-1 平休年拡大値

2 個人属性、旅行目的等に関する集計（平日・休日・年別に作成）

2-1 単純集計

2-1-1 居住地

2-1-2 性別

2-1-3 年齢

2-1-4 職業

2-1-5 旅行行程

2-2 日帰り・宿泊別旅行目的比率

2-3 旅行人数別日帰り・宿泊比率

2-4 出発地別アクセス交通機関比率

2-5 到着地別イグレス交通機関比率

2-6 日帰り・宿泊別男女別比率

2-7 日帰り・宿泊別年齢階層別比率

2-8 日帰り・宿泊別職業別比率

2-9 使用券種比率

2-9-1 日帰り・宿泊別

2-9-2 旅行目的別

(参考)

当日拡大値	1日交通量に合うように拡大した値
平休年拡大値	平成17年度の調査から平日1日、休日1日の2日間調査を行っており、当日拡大値を年間の平日日数及び休日日数を考慮して年間交通量に合うように拡大した値
平日年拡大値	平成12年度の調査までは平日1日のみ調査を行っており、それらとの経年比較のために作成するものであり、平日拡大値を年間交通量に合うように拡大した値 平成27年度調査以降、当該拡大値を用いた集計は廃止

○ 拡大値の算出方法について

1) サンプルの当日拡大

得られたサンプルを当日の交通量に合わせるため、列車グループごとに平日・休日別、上り・下り別に「当日拡大値」を算出

2) 当日拡大サンプルの乗継補正

上記で拡大したサンプルのうち、乗継駅で乗り継ぐ降車客数と乗車客数を合わせるため、降車客数を補正する「乗込み補正係数」と、乗車客数を補正する「乗出し補正係数」を算出・補正

3) 乗継客数補正サンプルの再拡大

上記補正による当日拡大値と当日交通量に乖離が生じるため「当日拡大値」を再算出

4) 発着逆転トリップの生成

発着を逆転したトリップを生成し、「当日拡大値」を1/2に減じ、平日1日平均流動、休日1日平均流動を算出

5) 「1日平均流動」の算出

平日1日平均流動、休日1日平均流動を年間の平日・休日日数を重みとする加重平均値として「1日平均流動」を算出

$$1日平均流動 = \frac{\text{平日1日平均流動} \times \text{平日日数} + \text{休日1日平均流動} \times \text{休日日数}}{\text{年間日数}}$$

6) 年間拡大

年間交通量と「1日平均流動」との比により「平休年拡大値」を算出

7) 特急利用回数による補正

特急列車を乗り継いでいる場合、旅客流動の重複計上を回避するため、特急利用回数で除した「当日拡大値（特急利用回数調整あり）」「平休年拡大値（特急利用回数調整あり）」を算出